

2009年度

科目名	コンピュータ技術基礎Ⅱ		
担当教員	尾川 信之		
配当	人社1	コード	42100
開期	後期	講時	木曜日2限
		単位数	2
授業テーマ	「データの整理」、「データの解析」と、それらを活用したビジネス資料作成力(情報化)を養う。		
目的と概要	<p>目的 調査データの収集からビジネス文書・資料作成に至るまでの基礎力を習得する。</p> <p>概要 ビジネスコミュニケーションで大切なことは、事実と推測・仮説を区別し認識することと、伝えることです。事実は様々な調査や実際に見たりしたことであり、それらはある目的のためになされます。その事実や見聞はまさしくデータです。しかし、データのみでは先には進みません。そのデータを解析して、その結果からある方向・次の行動へと結び付けなければ意味がありません。さらに、ある方向・次の行動が推測・仮説として導き出せたら、次に文書化・資料化してコミュニケーションツールとして仕上げなければなりません(情報化)。 本授業では、コンピュータ技術基礎Ⅰで学習した内容を活用して、データの整理、データ解析、ビジネス資料作成の基礎力の習得を目指します。演習を中心として、ビジネスに関連した題材を扱います。</p>		
成績評価法	期中レポート(40%)＋期末レポート(60%)		
テキスト	授業時に配付をします。		
参考書			
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<p>第1回 オリエンテーション (ビジネスにおけるデータ・情報の重要性) データ収集⇒データ解析⇒仮説設定という仕事の進め方</p> <p>第2回 Excelの基本練習</p> <p>第3回 Excelを活用したデータマイニング1 (関数機能の活用) 平均値(単純平均、幾何平均、調和平均)を活用した販売価格設定</p> <p>第4回 Excelを活用したデータマイニング2 (関数機能の活用) 平均値(単純平均、幾何平均、調和平均)を活用した販売価格設定</p> <p>第5回 個人調査結果の発表 自分で収集した調査結果を基に、ある商品の販売価格を決める。</p> <p>第6回 Excelを活用したデータマイニング3 (ソルバー機能の活用) 最適な生産計画を立てる1</p> <p>第7回 Excelを活用したデータマイニング4 (ソルバー機能の活用) 最適な生産計画を立てる2</p> <p>第8回 Excelを活用したデータマイニング5 (ソルバー機能の活用) 最小な輸送コストを求める。</p> <p>第9回 Excelを活用したデータマイニング6 (ソルバー機能の活用) コストを最小限にする仕事の割り当てを立てる。</p> <p>第10回 Excelを活用したデータマイニング7 (ソルバー機能の活用) 経済的な発注量を求める</p> <p>第11回 ビジネス文書・資料の作成1 (提言課題の設定) (1)グループ毎にテーマを決める、(2)調査項目・調査方法を考える</p> <p>第12回 ビジネス文書・資料の作成2 (調査結果の整理) (1)データ整理、(2)表・グラフの選択によるビジュアル化</p> <p>第13回 資料の作成1 (パワーポイントの活用) (1)ビジネス文書・資料の構成、(2)文書・資料の作成</p> <p>第14回 資料の作成2 (パワーポイントの活用) 文書・資料の作成</p> <p>第15回 グループ発表</p>			